



## 第28回関東本部主催囲碁大会参加報告

秋がほとんど感じられず、遅い夏日と早い冬日の繰り返しのこの頃ですが、比較的暖かさも感じられる冬晴れの候、関東本部主催の囲碁大会が開催されました。参加支部の人数の関係から今年度も個人戦対局となりました。

東京無線支部からは5名、運営委員として1名、計6名参加し、東京無線支部囲碁同好会にも入っている本多慶成さんは中支部から参加しました。

以下開催模様です。

1. 開催日 令和7年11月13日(木)
2. 開催場所 日本棋院3階B, Cホール
3. 参加人数 10支部41名(当日3名不参加)、東京無線支部からは阿部正志さん、中込和男さん、鹿島孝さん、関俊夫さん、西誠一さん、運営委員として私・松浦信広、計6名参加しました。
4. 試合形式 1グループ4名、一人3対局の総当たりリーグ戦、優勝者が表彰されます。当初44名参加のグループAからKの11グループで行う予定でしたが、当日3名の不参加があり、グループはそのまま11グループで開催し、不参加者の対局者は不戦勝となりました。なおグループCは4名のうち当日不参加者が2名のため表彰対象外となりました。
5. 対局ルール
  - ① 全対局は60分以内とし時間が過ぎた場合には酒井先生判断とする
  - ② 同段級位の場合には白石6目半のハンデ戦とする
  - ③ 段級位が異なる場合には、段級位差毎に1目置くハンデ戦とする 等
6. 対局 10時30分より開始し、表彰式、懇親会も含め16時過ぎ終了。
7. 成績 東京無線支部は2勝1敗3名、1勝2敗1名、残りの1名はグループCのため表彰対象外となりました。
8. プロ棋士酒井先生よりの大盤解説

毎回大きな棋戦の解説をしていますが、今回は中国が開発した囲碁用のAIプログラム「絶芸(ぜつげい)」と著名な棋士の対局手合いです。「絶芸」は著名な棋士との対局でも素晴らしい成績を収めたAIで、今回の手合いはAIが白石を持ち2目置いた手合いです。AIの差し手を中心に、好手妙手等詳しく解説いただきました。好評の次の一手も行われましたが、なかなか当てるのが難しかったようです。
9. 東京無線支部からは、昨年度は鹿島孝さん、西誠一さんが全勝優勝しましたが今年は全勝優勝者が出ませんでした。しかしながら表彰対象外となったグループCの1名を除くと、4名中3名が2勝1敗という素晴らしい成績でした。

今回は10支部参加しましたが、神奈川支部、群馬支部では参加者4名のうち3名が優勝、今回1名で参加した搬送支部は参加者が優勝しました。

来年は大いに頑張りましょう。(運営委員：松浦 信広)

全員写真



東京無線支部参加者



対局模様



酒井先生の大盤解説



懇親会模様

